

## I 第38週の発生動向 (2013/9/16~2013/9/22)

- 手足口病については、上十三保健所管内では第28週から、八戸保健所管内では第30週から、東地方+青森市保健所管内では第32週から、むつ保健所管内では第34週から**警報**が継続しています。
- ヘルパンギーナについては、弘前保健所管内では第32週から、東地方+青森市保健所管内では第35週から**警報**が継続しています。むつ保健所管内の警報は解除されました。

## II 第38週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週比)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ															0				
(74) RSウイルス感染症	6	0.8	5	0.6	3	0.3	4	0.8	1	0.2	1	0.3	20	0.5	0			6	0.8
(75) 咽頭結膜熱	1	0.1	1	0.1	1	0.1			1	0.2			4	0.1	2			1	0.1
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	0.3	3	0.3	12	1.3	2	0.4	5	0.8	1	0.3	25	0.6	-3			2	0.3
(77) 感染性胃腸炎	15	1.9	6	0.7	1	0.1					4	1.0	26	0.6	-13			15	1.9
(78) 水痘	6	0.8							2	0.3	1	0.3	9	0.2	-9			6	0.8
(79) 手足口病	17	2.1	30	3.3	37	4.1	4	0.8	29	4.8	24	6.0	141	3.4	-96			17	2.1
(80) 伝染性紅斑															0				
(81) 突発性発しん	2	0.3	2	0.2	2	0.2			3	0.5	3	0.8	12	0.3	-1			2	0.3
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ	22	2.8	29	3.2	2	0.2	4	0.8	9	1.5	4	1.0	70	1.7	-31			22	2.8
(84) 流行性耳下腺炎	1	0.1	7	0.8									8	0.2	-9			1	0.1
眼科																			
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5					1	1.0					2	0.2	0			1	0.5
基幹																			
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			2	2.0	4	4.0					1	1.0	7	1.2	3				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報 は注意報。「空欄」: 患者発生無し。

## III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患): 青森市1人、弘前1人、八戸3人、五所川原1人、上十三1人 (2013年計:233人)
- 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 八戸4人、むつ1人 (2013年計:51人)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2013年計:2人)
- 梅毒(五類全数把握疾患): 弘前1人 (2013年計:3人)

## IV 病原体検出情報

病原体検出情報は、ありませんでした。

# 感染症の窓

## 無菌性髄膜炎 (五類定点把握疾患)

無菌性髄膜炎は、ウイルス、真菌、マイコプラズマなど多様な病原体による感染症です。病原体としてはウイルスが最も多く、中でもエンテロウイルス属が全体の約85%を占めるため、手足口病、ヘルパンギーナ等と同様に、初夏から増加し始め、夏から秋にかけて流行し、罹患年齢は幼児及び学童期が中心です。

全国の地方衛生研究所からの報告では、2011~2013年はエコーウイルス(E)6型が最も多く検出されました。2013年は、E30型の検出数が増加し、コクサッキーB群ウイルス(CB)1型、エコーウイルス(E)9型、E7型、コクサッキーA群ウイルス(CA)9型の報告数は減少しています(図)。県内では、2013年にヒトヘルペスウイルス6型、7型及びCB3型が検出されています

病原体がウイルスの場合は、病原体保有者からの糞口感染、飛沫により感染し、症状は、通常、発熱と頭痛、悪心・嘔吐等です。予防のためには、うがい、手洗い、患者との濃厚な接触を避けることが大切です。(参考: IDWR「感染症の話」)

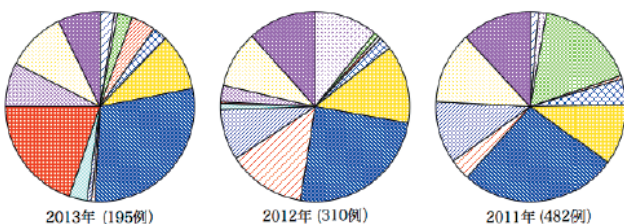
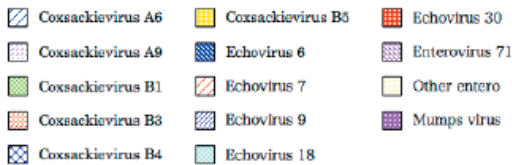


図 患者から分離・検出された主なウイルス (2011~2013年9月5日現在)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況 2013年第23週～第38週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
23	H25.6.3 ~ H25.6.9		破傷風1人				
24	H25.6.10 ~ H25.6.16		つつが虫病1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人	つつが虫病1人		
25	H25.6.17 ~ H25.6.23		つつが虫病1人	つつが虫病1人			
26	H25.6.24 ~ H25.6.30		つつが虫病2人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
27	H25.7.1 ~ H25.7.7	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人	つつが虫病1人	つつが虫病1人 風しん1人	腸管出血性大腸菌感染症1人
28	H25.7.8 ~ H25.7.14	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症2人	
29	H25.7.15 ~ H25.7.21	つつが虫病1人					
30	H25.7.22 ~ H25.7.28		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人 レジオネラ症1人			
31	H25.7.29 ~ H25.8.4		腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		
32	H25.8.5 ~ H25.8.11						
33	H25.8.12 ~ H25.8.18		腸管出血性大腸菌感染症1人				
34	H25.8.19 ~ H25.8.25		レジオネラ症1人	腸管出血性大腸菌感染症2人			
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	腸管出血性大腸菌感染症2人	腸管出血性大腸菌感染症1人 侵袭性インフルエンザ菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症1人	E型肝炎1人		
36	H25.9.2 ~ H25.9.8		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人			アメーバ赤痢1人	
37	H25.9.9 ~ H25.9.15	梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人 アメーバ赤痢1人	腸管出血性大腸菌感染症3人			腸管出血性大腸菌感染症1人
38	H25.9.16 ~ H25.9.22		梅毒1人 侵袭性インフルエンザ菌感染症1人	腸管出血性大腸菌感染症4人			腸管出血性大腸菌感染症1人

VI 結核(二類全数把握疾患) 2013年第31週～第38週 単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
31	H25.7.29 ~ H25.8.4	1	1	1	1	2	2
32	H25.8.5 ~ H25.8.11	4	2			1	
33	H25.8.12 ~ H25.8.18				1		
34	H25.8.19 ~ H25.8.25			1	2	1	
35	H25.8.26 ~ H25.9.1	1	1	1			
36	H25.9.2 ~ H25.9.8	3	2	2		1	
37	H25.9.9 ~ H25.9.15	4		4		1	
38	H25.9.16 ~ H25.9.22	1	1	3	1	1	

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

分類	2013年第1週～第36週累計																				
	二類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
疾病名	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	Q熱	コクサジウイルス症	重症熱性血小板減少症候群	チクンゲニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	マラリア	ライム病
累積報告数	1	18289	2	103	2726	42	36	87	99	12	8	3	3	38	9	143	154	85	2	30	15

分類	2013年第1週～9月24日16時30分累計																				
	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性髄膜炎菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	髄膜炎菌性髄膜炎
累積報告数	2	727	13	719	198	270	11	146	150	1036	55	68	16	556	13	836	96	43	13987	196	2

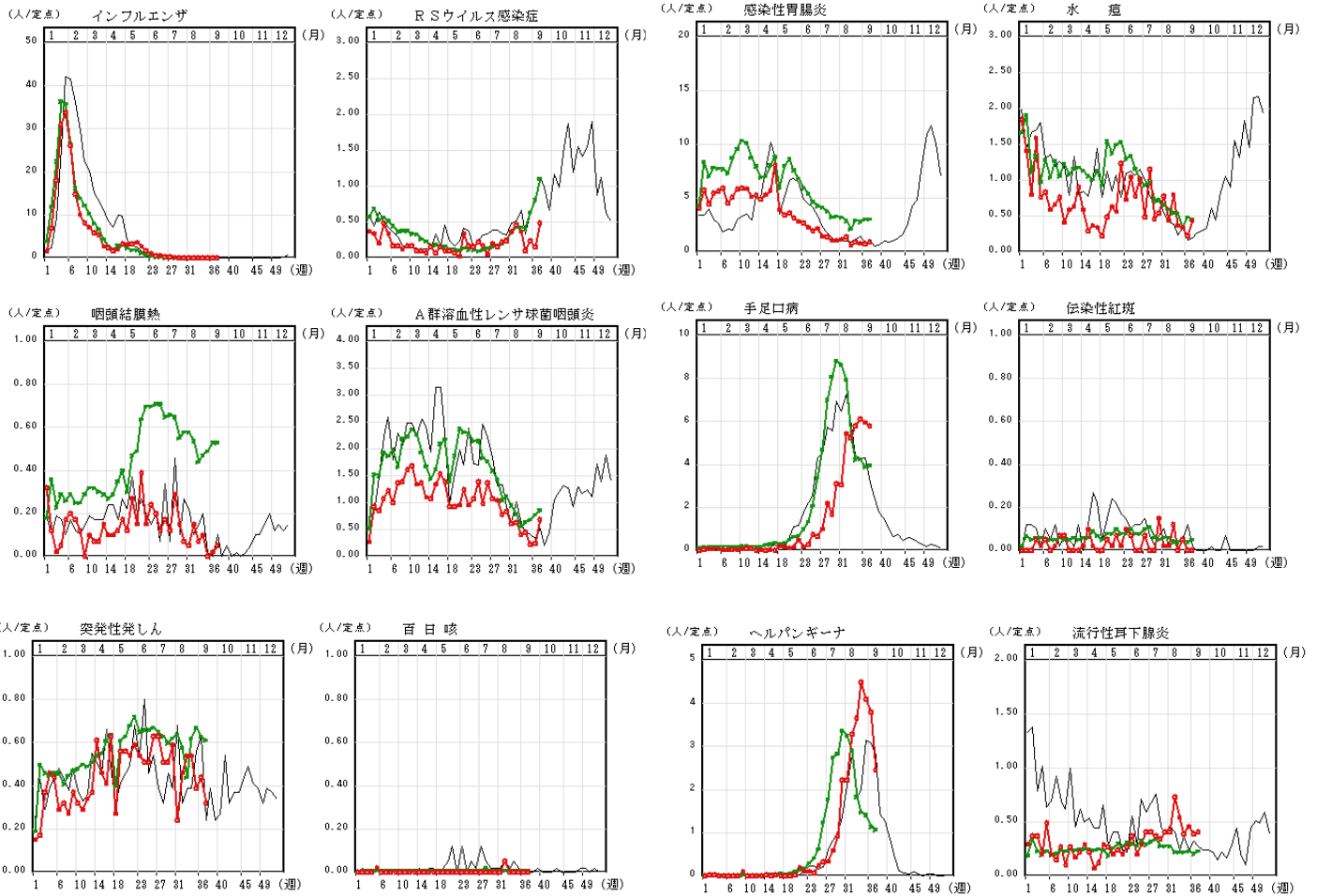
青森県 (2013年第1週～9月24日16時30分累計)

分類	二類	三類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵袭性インフルエンザ菌感染症	侵袭性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん				
累積報告数	233	51	3	16	3	4	2	2	2	2	2	2	1	3	1	1				8

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

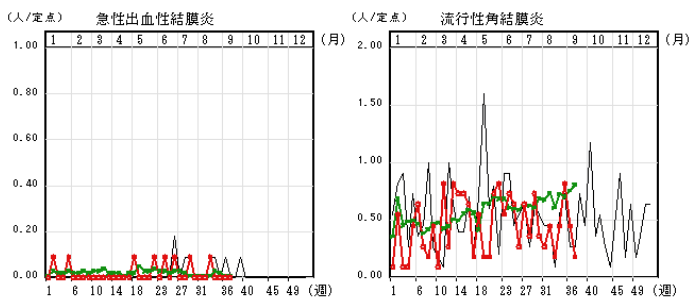
2013年第37週

グラフの説明 ○—○は2013年青森県、—は2012年青森県、×—×は2013年全国



Ⅸ 眼科定点把握疾患週別推移

2013年第37週



X 基幹定点把握疾患週別推移

2013年第37週

